

未来の家族、未来の私へ

群馬県立伊勢崎興陽高等学校 2年 山崎 雅

未来の家族へ。これは、16歳の私から、26歳の私に贈る、16歳の私の願いを込めた手紙です。

まず、未来の子どもへ。まだ性別も何人産むかも分からないけれど、私の元へ生まれて来てくれてありがとう。16歳の私は、双子が欲しいとか言っていたけれど、あなたたちは私たちの誇りです。どんなことがあっても、私はあなたたちの味方であり、あなたたちを信じています。そんな私から、子どもたちへお願いがあります。それは、どんな時でも笑顔でいることです。笑顔でいたら、きっとあなたたちに良い事があります。それを忘れないで下さい。

次に、旦那さんへ。あなたには感謝の気持ちでいっぱいです。たくさんの女性がいるなか、私を選んでくれたこと、同じ道を共に歩もうと決めたこと、私の旦那さんになってくれたこと、全てに感謝をしています。16歳の私はあなたとは全く違う人がタイプだったりしたと思います。ですが今、あなたが世界一大好きで、世界一愛しています。私は普通の女性より不器用で料理も掃除も苦手です。だけど、こんな不器用な私を選んでくれたあなたに私ができる恩返しは、あなたの傍に寄り添うことだと思います。あなたがいたから今の私がいて、子どもたちにも出会えました。本当にありがとうございます。私はあなたを愛し続けるので、どうかお別れするときまで私を愛して下さい。お願いします。

そして、お母さんへ。両親が離婚して、姉との暮らしも別々で、私と二人でずっといたけれど、私は幸せでした。私のために、一生懸命働いてくれてありがとう。私をここまで育ててくれてありがとう。これからは、私がお母さんを幸せにする番です。安心して、私の傍にいて下さい。

最後に、26歳の私へお願いとメッセージがあります。お願いは、昔の私が経験したことを絶対に未来の子どもたちへさせないで下さい。子どもたちには私のような辛い思いをさせたくないからです。また、家族で食卓を囲んで下さい。16歳の私には、家族で食卓を囲むことは遠い昔のことのように感じられます。家族で食卓を囲む幸せを経験させてあげて下さい。メッセージはただ一つ。幸せになって下さい。26歳の私の幸せが、16歳の私の幸せです。

未来の私、未来の家族の幸せを、心より願っています。